

# 林いさお通信

ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228  
討議資料 No. 84 3月議会 24年3月28日号林いさお後援会



3月定例議会が、2月28日から3月22日までの会期で開催され、新年度予算を含め、全ての議案が無事可決しました。冒頭、新年度に向けての施政方針演説を行いました（三芳町公式ウェブサイトにて全文掲載）。

## 3月議会で 新年度予算可決

### 3.11 予算特別委員会で黙祷を捧げる

今年度当初予算は、一 処理施設建設用地取得に伴い一般会計が11.6億6,000万円、公債費の35.9万6千円で、率にして元利償還金の増が主要因となっており、前年度比0.2%の減と減りました。

あらためて「本町の財政は、個人住民税については、年少扶養控除の廃止等、税制改正により増と減の仕分け等の結果を踏まえ、昨年起きた大震災や長引く円高、デフレの影響により、法人住民税等の影響により、法人住民税は減、また固定資産税も平成24年度が評価替えの基減となる見込みで厳しい予算編成となりました。

一方、歳出は、増の要因としては、入間東部地区消防組合本部庁舎建て替えに伴う負担金、及び、ふじみ野市と進めている広域ごみ

「選択と集中型」予算として、平成24年度一般会計・特別企業会計予算のあらましをご覧下さい。なお、議会からの貴重なご意見も真摯に受け止め、町政に活かしていきたいと考えています。



研究報告を行う市民研究員とチーム

## ★三芳町政策研究所 研究報告会開催！

2月29日（水）藤久保公民館にて、政策研究所の1年間の研究報告を行いました。

非常に厳しい経済状況の中で、都市間競争に負けないためには、政策研究・政策立案が大事という

認識のもと、昨年5月に設立。この研究所は、公募による住民の皆さんと若手職員、政策アドバイザーで3つのプロジェクトチームで研究を重ねてきました。

「自治基本条例」は、自治基本条例がなぜ必要なのか。制定には何が必要なのか。「自分たちのまちづくりのための生きた条例」策定について提言をいただきました。

新年度は、提言を受けてシンポジウム等を開催し、策定に向けての啓発活動及び策定委員会を立ち上げていきます。

「公共交通」は、「今後どのように三芳町の公共交通を考えていくか」をテーマに、今年度は町内の公共交通に関する現状を調べ、一定の地域を対象にしたアンケート調査を行いました。3年間の継続調査を行いました。

研究の1年目です。「観光のまちづくり」は、なぜ三芳町に観光なのか。町の現状や課題、将来について考え、様々な施策の提言をいただきました。

新年度、機構改革で新たに設置される観光産業課で可能な提言は事業実施していきます。

また、各プロジェクトチームの政策アドバイザーの皆さんのパネルディスカッションも実施。町村では初の自治体シンクタンクで、しかも市民研究員が参加していることから、「オンリー・ワン」との評価をいただきました。新年度は、新たに「緑の保全と活用」「日本の里100選三富新田まちづくり」の2つの研究を行います。（広報みよしで市民研究員の募集を行います。また、今回の研究報告の詳細は、三芳町公式HPに掲載）